

# 第3学年 国語科学習指導案

児童 3年1組 37名  
指導者 紺野 潤子

## 1 単元名 場面をそうぞうしながら読もう

～戦争をテーマにした本を読み、読書交流会をしよう～

教材名 「ちいちゃんのかげおくり」 あまん きみこ

## 2 単元について

### (1) 児童の実態

児童は、「きつつきの商売」では、叙述を基に読み取った場面の様子や登場人物の気持ちの変化を音読によって表現する活動を行った。また、並行読書を行いながら、音や様子を表す言葉が面白い本の中から好きな文章を選び、音読で表現する発表会に取り組んだ。「三年とうげ」では、読みの観点に着目しながら、話の面白さを読み取り、本の帯を作る活動を行った。また、「三年とうげ」で学んだ読みの観点に着目した読み取りを活かして、並行読書で読んだいろいろな国の本の帯を作り、紹介し合う活動「ブックランド」を開いた。

これらの学習を通して、児童は、目的に応じて本を選んで読み、場面の状況をとらえたり登場人物の行動を読み取ったりするようになってきている。また、選んだ場面の様子が聞き手によく分かるように意識して音読するようになってきている。本の帯作りの活動では、本の帯に必要な内容や言葉を選び、自分の思いや考えをもつことができるようになってきている。しかし、場面と場面を関連付けて読んだり登場人物の気持ちについて想像したりしたことを友達と交流し合うことについては不十分であり、単元の学習を通して育てていきたい。

週1回の朝読書や縦割り班での読み聞かせ活動、お薦めの本を紹介する活動に積極的に取り組むなど読書への関心は高く、1学期の図書貸出冊数調べでは、ほぼ全員が多読賞となった。オープンスペースに設けた並行読書のコーナーでは意欲的に読む姿が見られ、読書カードへの記入も楽しそうに取り組んでいる。また、図書委員会で行った親子読書にもほぼ全員が取り組み、家庭でも読書を楽しんでいる様子が見られた。読書傾向に偏りが見られ、文章の多い本を好まない傾向があったが、読書の幅を広げることにより、読書の楽しさを感じる姿が見られるようになってきている。

### (2) 単元のあらまし

本単元は、中心教材「ちいちゃんのかげおくり」で想像しながら読み取ったことを活かし、戦争について描かれた作品について想像したり考えたりしたことを交流し、感じ方の違いに気付くことをねらいとしている。

本教材は、ちいちゃんという幼い女の子を主人公とし、戦争に巻き込まれた家族の姿を描いた物語である。記念写真として家族そろってかげおくりをする場面、空襲から逃げるうちに母と兄からはぐれ、ひとりぼっちになる場面、一人で家の跡で待ち続ける場面、一人でかげおくりをする場面、戦後子どもたちが幸せそうに遊んでいる場面の五つの場面からなり、戦争時代の様子が淡々と描かれた中に戦争の残酷さを感じさせる構成となっている。戦争を十分に理解できないと思われる児童にとっても平和の大切さや家族の絆の尊さを心から感じ取ることのできる作品である。第一場面と第四場面ではかげおくりが対照的に描かれ、場面構成がはっきりしていることから、文章に抵抗のある児童も主人公の行動や心情を感じ取り、感想を交流できると思われる。また、会話文が多く、体言止めや文末表現の工夫により登場人物の心情を読み深めやすく、情感豊かに読み浸らせるのに適した作品である。

これらのことから本単元で、読書交流会をするために、本の紹介原稿を作る言語活動を取り入れることにより、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読む

ことができると考える。読書交流会では、文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いがあることに気付かせたい。また、並行読書では、家族をテーマにした作品を中心に、戦争について描かれた作品を取り上げる。「ちいちゃんのかげおくり」で学んだ物語文の読み方を活かし、並行読書の中から自分が選んだ本の紹介原稿を作ることにより、他の作品も主体的に作品全体を読み通すことができるようにしていきたい。

(3) 指導に当たって

このような児童の実態や単元のあらましを踏まえ、本単元で児童に身に付けさせたい力を次のように考えた。

思考力	場面と場面を関係付けて読んだり登場人物の行動や会話から人物像を想像したり、自分と友達の考えの共通点や相違点を考えたりする力
判断力	読書交流会という目的を意識して、紹介原稿に必要な文や言葉を選ぶ力
表現力	本を読んで心を打たれたことや自分の思いがよく伝わるように、紹介原稿に表現する力

第1次では、戦争をテーマにした本の並行読書を行い、「ちいちゃんのかげおくり」で学習したことを活かして、紹介原稿を作り、交流し合うという単元のゴールを明確にする。また、「あらすじ・人物紹介・紹介したい場面」が書かれた紹介原稿を紹介し、読書交流会への見通しと意欲をもたせる。

第2次では、「ちいちゃんのかげおくり」を紹介原稿の内容に沿って、作品全体を読み通していく。また、紹介原稿の内容を見付ける手掛かりとして、「読みの観点」〈中心となる出来事・登場人物の行動や会話・心に残った言葉や文〉を確認し、読み取っていく。「あらすじ」をまとめる紹介原稿①では、〈中心となる出来事〉に着目しながら、あらすじをまとめ、場面と場面の関係や想像したことについて交流し合う。「人物紹介」をまとめる紹介原稿②では、〈登場人物の行動や会話〉に着目しながら、登場人物の性格や気持ちの変化について想像したことを交流し合う。「紹介したい場面」をまとめる紹介原稿③では、〈心に残った言葉や文〉に手掛かりに、紹介したい場面を選び、選んだ理由や想像したことについて交流し合う。これらの交流を通して、思考力・判断力・表現力を身に付けさせたい。

第3次では、並行読書をしていた本から1冊選び、「ちいちゃんのかげおくり」で学習した読みの観点を手掛かりに自力で作品を読み取り、選んだ本の紹介原稿を作り、読書交流会を行う。物語全体を思い描きながら想像したことを紹介原稿にまとめ、一人一人の感じ方の違いを交流し合うことにより、物語を想像して読むことの楽しさに気付かせたい。

3 単元の目標

関心・意欲・態度

- 戦争をテーマにした本を進んで読み、作品について紹介しようとしている。

読むこと

- 場面の移り変わりや情景を、叙述を基に想像しながら読むことができる。

(C読(1)ウ)

- 想像したことや考えたことを友達と交流し合い、感じ方の違いに気付くことができる。

(C読(1)オ)

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。

((1)イ(ア))

4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
戦争をテーマにした作品について、意欲的に紹介しようとしている。	場面の情景、登場人物の様子や心情について叙述を基に想像しながら読んでいる。 自分の考えと友達の考えを交流し合い、一人一人が考えたり思ったりしたことに違いがあることに気付いている。	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づき、使おうとしている。

5 単元の指導計画（指導時数 1 2 時間）

時数	学習内容	活用する 知識・技能	活用を図る 言語活動	評価規準 (評価方法)
第一 次 1	○ 戦争をテーマにした本の「読書交流会」を開くまでの単元の学習計画を立てる。 ・戦争時代について知っていることを話し合い、自分の読書生活を振り返る。  ・戦争をテーマにした本を読んで友達に紹介する「読書交流会」を開くという単元の見通しをもつ。 ・「火垂るの墓」の紹介原稿で、紹介原稿の内容を確認する。 ・並行読書の進め方を確認する。	・あらすじ ・人物像 ・場面 ・感想	・戦争について知っていることを交流する。	(関) 紹介原稿を作り、作品紹介することに意欲をもっている。 (観察)
2	・「ちいちゃんのかげおくり」の全文を音読し、感想を書く。  ・新出漢字や語句の練習をする。	・初発の感想 ・行動 ・会話 ・出来事 ・言葉 ・文 ・辞書引き	・初発の感想を交流し合いながら、「読みの観点」を確認する。	(読) 自分の感想をもっている。 (ノート)
第二 次 3	○ 「ちいちゃんのかげおくり」を紹介原稿の内容に沿って、叙述を基に想像しながら読み取る。  ・中心となる出来事から、物語のすじをとらえ、あらすじをまとめる。	・挿絵 ・設定 ・時 ・場所 ・出来事	・時や場所の変化を確かめ中心となる出来事、山場や結末などについて、想像したことを交流する。 ・紹介原稿①に、あらすじ	(読) 中心となる出来事に着目しあらすじをまとめている。 (シート)

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・冒頭</li> <li>・展開</li> <li>・山場</li> <li>・結末</li> <li>・想像</li> <li>・5W1H</li> </ul>	<p>を書く。</p>	
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の行動や会話から、人物像をとらえ、人物紹介をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心人物</li> <li>・行動</li> <li>・会話</li> <li>・人柄</li> <li>・想像</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の性格、登場人物の気持ちや行動の変化について、交流する。</li> <li>・紹介原稿②に、人物紹介を書く。</li> </ul>	<p>(読) 登場人物の行動や会話に着目し、性格や心情について想像しながら読んでいる。(シート)</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心に残った言葉や文から、紹介したい場面を選び、選んだ理由や感想をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来事</li> <li>・行動</li> <li>・会話</li> <li>・言葉</li> <li>・文</li> <li>・心情</li> <li>・変容</li> <li>・想像</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介したい場面とその理由や想像したことについて交流する。</li> <li>・紹介原稿③に、紹介したい場面と、その理由や感想を書く。</li> </ul>	<p>(読) 心に残る言葉や文を見つけて想像しながら読んでいる。(シート)</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介原稿にまとめたことを紹介し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感想交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えと似ているか違うか、理由を明らかにして交流する。</li> </ul>	<p>(読) 互いの感じ方や考え方に違いがあることに気付いている。(発表)</p>
第3次	<p>○ 戦争をテーマにした本の「読書交流会」を開く準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介したい本の紹介原稿を書く準備をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動</li> <li>・会話</li> <li>・出来事</li> <li>・言葉</li> <li>・文</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読みの観点について、選んだ本に付箋をはる。</li> </ul>	<p>(読) 読みの観点に着目しながら読んでいる。(付箋)</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介したい本のあらすじを紹介原稿①にまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挿絵</li> <li>・時</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が選んだ本の紹介原稿を作成し、紹介原稿について、同じ本のグループで自分の考えと友達の考えを比べながら交流する。</li> </ul>	<p>(読) 自分の紹介原稿と友達の紹介原稿を比べ、共通点や相違点を見付けている。(シート)</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介したい本の人物紹介を紹介原稿②にまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場所</li> <li>・出来事</li> <li>・山場</li> </ul>		
10 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介したい本の紹介したい場面を紹介原稿③にまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結末</li> <li>・5W1H</li> <li>・行動</li> <li>・会話</li> <li>・言葉、文</li> </ul>		

11	・読書交流会の準備をする。		・紹介原稿を見直したり、書き加えたりする。	(関) 紹介原稿を見直し、作品紹介をすることに意欲をもっている。(観察)
12	・読書交流会をする。  ・単元全体の振り返りをする。	・感想交流	・別の本を読んだ友達とグループを作り、自分の考えと似ているところ、違うところについて交流する。	(関) 友達の紹介を聞いて、いろいろな本を読もうとしている。(発表)

## 6 本時の指導

### (1) 目標

並行読書の中から選んだ本の紹介原稿③(紹介したい場面)をまとめ、友達との感じ方の違いに気付く。

### (2) 活用を図る言語活動について

「ちいちゃんのかげおくり」で学習した「読みの観点」を手掛かりに作成した紹介原稿を活かして、自分が選んだ本の紹介原稿③(紹介したい場面)を作成して交流する言語活動を行う。その際、「読みの観点」<心に残った言葉や文>に着目させながら、紹介したい場面とその理由、想像したことを書くことにより、思考力・判断力を高めていきたい。また、自分の紹介原稿③と友達の紹介原稿③を交流し合い、共通点と相違点を考えることにより、思考力を更に高めていきたい。

### (3) 展開

階	学 習 活 動	教師の支援 (◎評価)
つ か む	1 前時の学習内容を想起する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時までに作成した紹介原稿(あらすじ・人物紹介)を想起させ、本時の課題を確認させる。</li> </ul>
2 分	2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">「しょうかい原こう③(紹介したい場面)」を書いて、友だちとくらべよう。</div>	
見 通 す	3 学習の見通しをもつ。 (1) 「読みの観点」を確かめる。 ・読みの観点は、<心に残った言葉や文>です。 (2) 選んだ理由、想像したことや考えたことを書くことを確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「読みの観点」を手がかりに並行読書をしながら選んでおいた紹介したい場面の紹介原稿を作り、交流し合うことを確認させ、活動の見通しをもたせる。</li> </ul>
5 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>選んだわけを書きました。</li> <li>選んだ場面から想像したことも書きました。</li> </ul>	
深 め る	4 学習課題の解決を図る。	<p><b>【知識・技能の活用を図る言語活動】</b></p> <p>○ 自分選んだ本の紹介原稿(紹介したい場面)を作成して、交流する。</p> <p><b>【活用する知識・技能】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">心に残った言葉や文</div>
35 分		

深  
め  
る  
35  
分

(1) 紹介原稿③を作る。  
・ 一番紹介したい場面を選び、よく伝わるように書く。

(2) 同じ本のグループ毎に紹介原稿を交流する。

- ・ わたしが一番紹介したい場面は、主人公が～したところです。選んだわけは、～のところを読んだとき涙が出そうになったからです。主人公は、～だから～したと思います。
- ・ ぼくも～さんと同じ場面を選びました。ぼくが選んだわけは～というところが心に残ったからです。主人公は、～と言っていると思います。
- ・ わたしは、～さんたちと違って～という場面を選びました。選んだわけは、～のところを読んで悲しくなったからです。～ということが心に浮かんできました。

(3) 交流を通して、気付いたことをまとめる。

- ・ ぼくは、～さんと同じ場面を選びました。～さんの主人公の～という気持ちを付け足したいと思いました。
- ・ わたしは、～さんと同じ場面を選びました。ぼくは、～と思ったけど、～さんは～と思っていたので、そういう感じ方もあるんだなあと思いました。
- ・ ～さんは、ぼくと違う場面を選んでくれたけど、選んだわけや思ったことは同じだなあと思いました。
- ・ 同じ本なのにみんな違う場面を選んでいて、いろいろな感じ方があるんだなあと思いました。

- ・ 並行読書で、いくつか選んでおいた心に残った言葉や文を基に、一番紹介したい場面を選ばせる。
- ・ 「ちいちゃんのかげおくり」で作成した紹介原稿を参考にしながら、主語、述語などを考えながら紹介場面の紹介文を書かせる。
- ・ <心に残った言葉や文>を引用しながら選んだ理由を理由を書かせる。
- ・ 想像したことや考えたことを書かせる。

・ 自分たちで進めることができるように、交流の進め方を確認する。

( 同じ場面の感想→違う場面の感想)

- ・ 「選んだ場面」「選んだ理由」「心に残った文や言葉」「想像したこと」について、自分の紹介原稿と友達の紹介原稿の共通点と相違点を考えながら聞くようにさせる。

・ 共通点や相違点、参考にしたい点について交流したことをまとめさせる。

- ・ 自分の紹介原稿と友達の紹介原稿を比べ、共通点や相違点、参考にしたい点についてまとめたことを発表させる。
- ・ 友達の原稿のよさを認め合う場となるようにする。

◎ 自分の紹介原稿と友達の紹介原稿を比べ、共通点や相違点を見付け、感じ方の違いに気付いている。

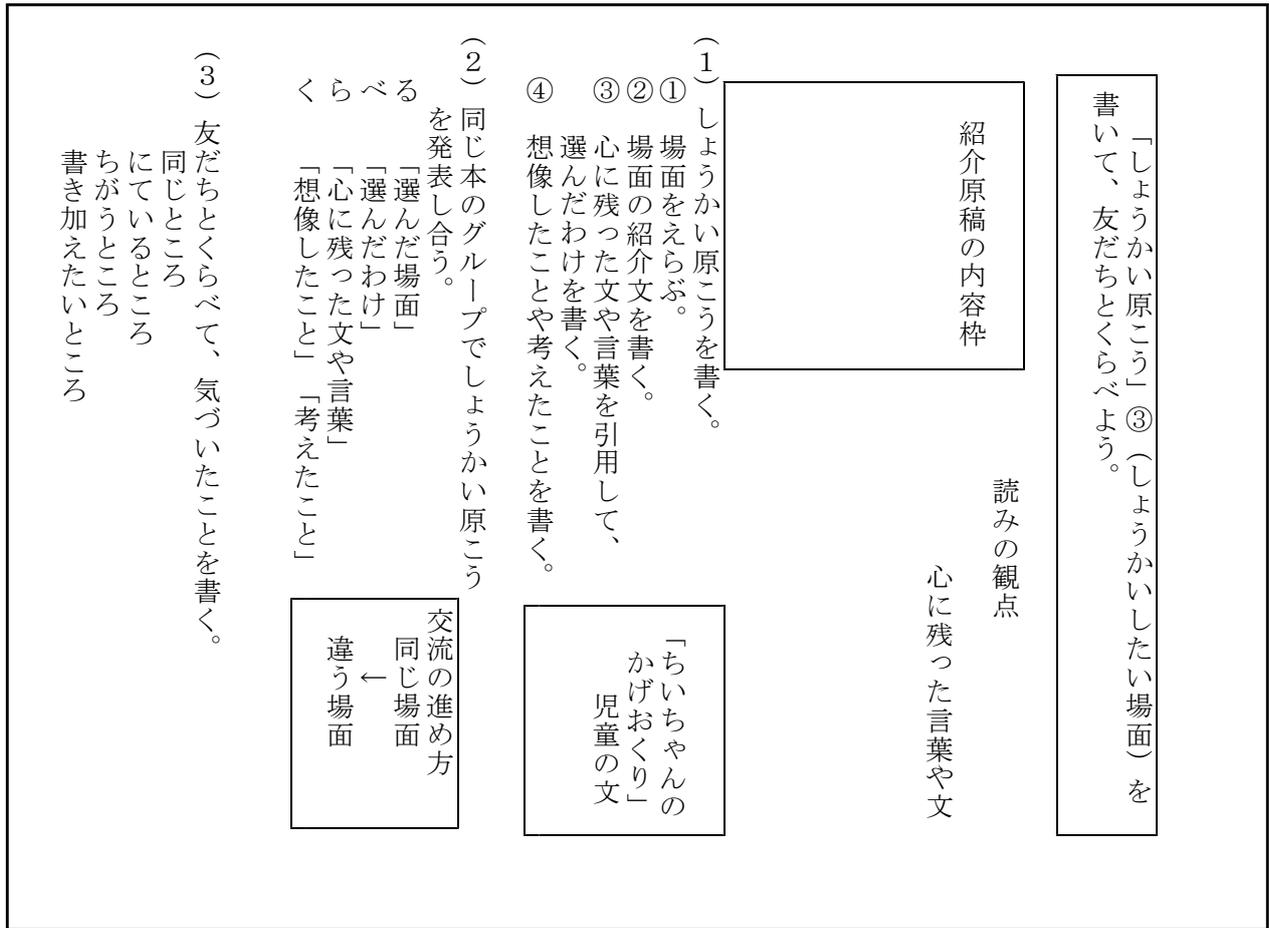
(シート)

深 め る  35 分		<b>【目指す子どもの姿】</b> 場面や心情について想像したことについて交流したことを基に、一人一人の感じ方に違いがあることを考えることができる。 (思考力)
ま と め る  2 分	5 学習のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>同じ本を読んでも、感じ方が様々であることを児童の発表からまとめる。</li> </ul>
振 り 返 る  1 分	6 本時の学習を振り返る  7 次時の学習を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の紹介原稿と友達の紹介原稿の共通点や相違点を見付けることができたか振り返らせる。</li> <li>紹介原稿を見直したり書き加えたりして、交流会の準備をすることを知らせる。</li> </ul>

(4) 具体の評価規準

観点	A 十分満足	B おおむね満足	B に至らせるための手立て
読むこと	自分の紹介原稿と友達の紹介原稿の共通点や相違点などについて比べ、感じ方が違うことに気付き、それぞれのよさを感じている。	自分の紹介原稿と友達の紹介原稿の共通点や相違点などについて比べ、感じ方が違うことに気付いている。	「選んだ場面」「選んだ理由」「心に残った文や言葉」「想像したこと」のどれかについて、比べさせる。

(5) 板書計画



(6) 資料

<ブックリスト>

「火垂るの墓」	野坂 昭如	徳間書店
「おはじきの木」	あまん きみこ	あかね書房
「絵本 まっくろなおべんとう」	児玉 辰春	新日本出版社
「まっくろなおべんとう」	児玉 辰春	新日本出版社
「おかあさんの紙びな」	長崎 源之助	岩崎書店
「絵本 よっちゃんのビー玉」	児玉 辰春	新日本出版社
「よっちゃんのビー玉」	児玉 辰春	新日本出版社
「せかいいち うつくしい ぼくの村」	小林 豊	ポプラ社
「ぼくの村に サーカスがきた」	小林 豊	ポプラ社
「ヒロシマのピアノ」	指田 和子	文研出版
「おりづるの旅」	うみの しほ	PHP研究所
「ヒロシマのいのちの水」	指田 和	文研出版
「むらさき花だいこん」	大門 高子	新日本出版社
「あまんきみこ童話集5」	あまん きみこ	ポプラ社
「絵本 おこりじぞう」	山口 勇子	金の星社